

# 桜工

日本大学工科校友会

No.75 1993

## 目次

これからの大学と理工学部の対応「新沢順悦」	2
専攻増設について「浜田繁雄」	5
メディア科学研究室開設について「小林英恒」	5
支部長および合同懇親会の開催	6
日本大学八海山セミナーハウス「山田清臣」	6
日本大学八海山セミナーハウス見学会に寄せて「渡辺泰男」	7
ニュース	10
平成4年度第四回「桜工賞」受賞者	10
発展する理工学部学術講演会「長江啓泰」	11
理工学部入学試験の現況「栗田公夫」	12
平成4年度の就職状況について「就職指導課」	13
1992年ノーベル賞受賞式出席に選抜されて	14
平山常務理事が理事長代理・代行に就任	14
新理事に生産工学部長平井氏が就任	14
桜門技術士会が発足	14
部会だより	15~19
土木・建築・機械・電気・工化・物理	15~19
数学・交土・精機・海建・航宇・電子	19~22
クラス会だより	22~26
土木・機械・工化	22~26
地方支部だより	27~29
山形県・宮城県・群馬県・茨城県・埼玉県	27~29
静岡県・石川県・愛媛県	29~31
職域支部だより	31~34
事務局だより	34
平成3年度卒業生新正会員終身会費納入者名簿	36~37
地方支部職域支部一覧表	38
理工学部習志野校舎13号館	39



日本大学八海山セミナーハウス

◎ 平成5年度通常総会は下記の日程にて開催予定です。

日 時 平成5年6月25日(金) 6時より総会

総会終了後懇親会

場 所 東京ガーデンパレス

\* 詳細は事務局までご連絡下さい。

事務局

◎ 住所変更・表示変更等は事務局までご連絡下さい。

電話 03-3259-0650

FAX 03-3293-1370

江口・田中

〔会誌委員会〕

委員長 松本 健次 (工化)	委員 石見喜三郎 (精密)	委員 小泉 達也 (海建)
副委員長 石山 元雄 (建築)	委員 早川 清一 (電気)	委員 阿部 和弘 (航空)
副委員長 田村 利武 (工化)	委員 南山 斉 (工化)	委員 高橋 芳浩 (電子)
委員 白水 暢 (土木)	委員 鈴木 潔光 (物理)	
委員 橋本 正雄 (機械)	委員 五十嵐正夫 (数学)	

編集後記 

「桜工」第75号をお届けします。

新しくできた理工学部の教育施設八海山セミナーハウスを訪れてのレポート如何がでしたか。これからも、教育施設探訪記事が多く連載されるのではと、心配する編集委員も、自薦のレポーター希望者?が多・多なので

近ごろ気になるキーワード

「2007年5人に1人が65歳以上」・「高齢化の速度日本が世界一」・「2000年までに環境と調和するまちへ省エネ・省資源、リサイクルを徹底してエネルギーの使い方を考えるとき」(地球サミット会議)

このとき、高齢化社会に向けての生涯学習・人材リフォームの場の提供等。

また、21世紀のエコロジカルな地域社会づくりに、我が日大理工学部の果たすべき役割への期待は極めて大きい。

大学・工友のさらなる発展、活躍を祈ります。  
(松本)

平成5年3月25日発行

発行所 日本大学工科校友会

編集・発行者 松本健次

〒101 東京都千代田区神田駿河台1-8

電話 03-3259-0650

FAX 03-3293-1370

印刷所 有限会社 ムサンノ総合印刷

# 理工学部 習志野校舎

13

号館



## 理工学部習志野校舎13号館

### 計画の特色

駿河台校舎1号館の建て替えを機に、その代替施設として建設されたもので、建物の大半を教室が占める。教育・研究環境の中で最も日常的に使われる教室については、新しい教育方法に対応できるよう配慮されている。大教室(300人教室)は階段教室とし、大型スクリーンによる映像設備をもち、種々のAV機器による密度の高い視聴覚教育ができる。

中教室(180人教室)は一般教室であるが、両面採光の快適な教室空間としている。

又、各教室とも、OHC、VTRなどのAV機器が導入され新しい教育メディアによる授業ができる。

各室とも冷暖房設備をそなえ、新しい教育環境にふさわしいものとしている。

13号館には教室の他に、学生ホール、軽食堂などの交流ゾーンも含まれており、2つの棟からなる群建築となっており、近い将来、東葉高速線の開通にともなって新駅ができれば、習志野キャンパスの新しい顔となるであろう。 93.2(建築学科 若色峰郎)

### 建築概要

設 計	日本大学理工学部理工学研究所+奥野建築設計事務所
監 理	日本大学本部営繕部+理工学研究所
施 工	建築/株式会社フジタ 設備/ダイタン株式会社 電気/岩崎電気工事株式会社
工 期	1990年11月~1992年3月(17ヶ月)
建 築 面 積	2,456.52M <sup>2</sup>
延 床 面 積	7,539.78M <sup>2</sup>
階 数・ 構 造	高層棟/地上6階建 鉄骨鉄筋コンクリート造 最高高さ30.484M、軒高24.894M 低層棟/地上3階、地下1階、鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
施 設 内 容	高層棟/中教室(180人用)×11室、講師室、放送室、購買部 低層棟/大教室(300人用)×2室、小教室(90人用)×6室、学生ホール、軽食堂、厨房、設備機械室、倉庫等
主 要 設 備	冷暖房空調設備 昇降機 15人乗り×2台(105M/Min) 大型映像設備

### 表紙説明

#### 日本大学八海山セミナーハウス建築概要

所 在 地	新潟県南魚沼郡六日町大字山口字八海山
設 計	日本大学理工学部理工学研究所+幹設計
監 理	日本大学本部営繕部+幹設計
施 工	建築/日産建設株式会社 設備/芝工業株式会社 電気/株式会社きんでん
工 期	1990年8月~1992年6月(23ヶ月)
敷 地 面 積	6997.0m <sup>2</sup> (2116.5坪)
建 築 面 積	1945.0m <sup>2</sup> (588.3坪)
延 べ 面 積	3364.0m <sup>2</sup> (1017.6坪)
主 要 構 造	鉄筋コンクリート造、地上3階建、地下1階
宿 客 収 容 人 数	92人
施 設 内 容	地下:EV機械室 1階:ホール、食堂、ラウンジ2室、大広間、前室、宿泊室(和室7室、洋室(身障者対応)1室)、乾燥室、スキー置場、リネン室、事務室、フロント、厨房、食品庫、

従 業 員 控 室、 大 浴 室、 小 浴 室、 機 械 室、 便 所 ( 男 女 2 ヶ 所 )、 談 話 室、 湯 沸 室、 ラ ン ド リ ー	
2階:ホール、研修室4室、パソコンコーナー、談話室2室、宿泊室(和室3室、洋室12室)、化粧室、便所(男女1ヶ所)、湯沸室、リネン室	
3階:宿泊室(洋室5室)、湯沸室、倉庫、天文台待合ホール	
R階:天文台	
駐 車 場:19台	
そ の 他 主 要 設 備	冷暖房、換気設備、給排水衛生、電気設備、融雪ヒーター、消雪設備、エレベーター設備(9人用/45m/min)、客室ユニットバス、天体望遠鏡
主 要 外 部 仕 上	屋根:フッ素樹脂塗装鋼板平葺き及び横葺き 壁:吹き付けタイル化粧目地 サッシ:カラーアルミサッシ